

< 運営推進会議における評価 > * 公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 ライフ・タイム・福島	事業所名	ライフ吉井田 看護小規模多機能型居宅介護事業所
所在地	(〒 960 - 8165) 福島県福島市吉倉字谷地 73 番の 1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

地域包括ケア施設の中にある事業所という自覚を持ち、地域の拠点となり地域に開かれた施設を目指しております。1 階のみんなのサロンでは、小さなお子様から高齢者までくつろげる交流スペースとして開放しています。そこでは、地域住民と利用者、家族、職員との交流の場として活用しています。3 階の大会議室では、地域住民の会合や研修会などに提供しています。当施設は、福島市の福祉避難所に指定されており、有事の際の受け入れ体制を整備しています。また、定期的な行事として、料理教室、オレンジカフェ等を毎月開催し、夏祭りは地域住民を招いていました。毎年、地区の夏祭り、八幡神社例大祭、大運動会、文化祭などに招待を受け、地域の方の温かい雰囲気と支援により交流する機会があります。また、職員間の情報の共有として利用者の「気づきノート」「リスク管理表」を作成し活用しています。防災についても、毎月 21 日に様々な場面を想定した防災訓練を行うとともに、年 1 回、消防署員、支所長、地域包括支援センター職員、地域住民と共に総合防災訓練にて、火災・地震・水害時等の避難等についての確認を行っています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 12 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(12) 人 ※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 5 月 8 日	出席人数 (合計)	(11) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☒ 自事業所職員 (7 人) ☒ 市町村職員 (1 人) ☐ 地域包括支援センター職員 (〃 人) ☒ 地域住民の代表者 (1 人) ☐ 利用者 (〃 人) ☐ 利用者の家族 (〃 人) ☒ 知見を有する者 (2 人) ☐ その他 (〃 人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		法人内研修や事業所内研修だけでなく外部研修に積極的に出席するとともに出席後の伝達研修も実施し知識・技術の共有を図り職員の向上心を高めていく。	内部研修については、毎月法人内勉強会・事業所勉強会を実施しており、出席できなかった職員へも伝達研修を行っていく 特に令和 5 年度は虐待防止、身体拘束、認知症について学ぶ機会を多く持ち看護小規模の特徴を活用したケアに心がける	5 月よりコロナウイルスが 5 類になったとは言え特に外部研修は少なかった。 認知症実践者研修で学んだ職員 2 名から事例提供してもらおうと直ぐ翌日から実践できるような声掛けやケアの内容について伝達がありました。認知症の方への声掛けの仕方により大声を出されていたり室内を迷いながら歩く方が落ち着いて過ごせるようになりました。12 月の人事考課を通し効果を確認しました。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者・家族の状況の変化に柔軟に対応しながらサービス提供に努めていく。 家族や地域との関係性の構築に努め交流等を図りながら信頼を得られるようにする。	まず利用者様の状況や情報を共有する手段として「スマケア」機器を導入していますので職員全員でスピード感を持って情報を共有出来ると思います。更にケアの手順書を修正したい場合等はケアマネが利用者様、ご家族様と面談し意向を確認する。	スマケア（スマートフォン）を使用しその中に手順書を入力する。変更点があれば随時更新しながら訪問時の記録も入力する。職員間で情報を閲覧し共有することが出来ています。時間を有効に活用することで自宅訪問が増え地域の方々と接する機会も多くなるようにしたい。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	コロナウイルスの影響により体調面での不安をなくし在宅生活が継続できるように更に主治医・訪問看護との連携・情報共有にも努める。緊急時に対応できる連絡網の確認。感染症の流行により外出行事、慰問、面会等、コミュニケーションの場が少ない中であってもやれることを探していく。	コロナ感染症については地域でも関心があるので運営推進会議、オレンジカフェ、料理教室開催時でも議題をあげ病気の理解や対応策について話合える環境を作ります。更に地域の課題となっている事を知る環境整備ができるようにする。感染症の流行で気分転換を図れるように工夫していきたい	感染症を疑う症状があれば看護師が利用者様の主治医と密に連絡行えました。R5、4 月にはオレンジカフェをコロナ以前の様に地域の方を交えて行う事ができた。R5、12/6～みんなのサロンを一般開放、同 12 月末には施設入り口に掲示板を設置し地域の声を聞く環境を整えられたと思います。

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	在宅生活の継続の為、残存機能を活かしながら自立支援に向けたケアを提供します。 医療ニーズや認知症がある利用者の受け入れがスムーズにできる様に研修会・勉強会にて医療・看護の知識を高める。 地域の方々にも事業所の理解を得て頂くために交流の場を作り関係性をより深めていきたい。	医療依存の高い方でも介護員、看護師が在宅へ訪問し自立支援に向けた働きかけ相談等を行う。オレンジカフェや料理教室の機会を利用し自事業所を更に知ってもらえる様にする。施設全体で地域活動、災害時の福祉避難所である事を周知し取り組めるようにする。施設がある事で安心してもらいたいので情報共有の場を多く設けていきたい	在宅の訪問では本人・家族の意向を十分に反映できる要素を持っています。コミュニケーションの機会を多く持ち望む生活の支援を継続していきます。オレンジカフェ、料理教室は年間計画で担当制（居宅・看護小規模・訪問看護）なので企画等は時間に余裕をもって取り組むことが出来ている。サロンの一般開放掲示板の設置をした事で地域の方々に認知され関係性を深めました
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)				

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	法人内研修、事業所内研修、勉強会、外部研修等多くの学ぶ機会があり自己研鑽や事業所内職員間で情報を共有し質の向上を図る事が大切であることを知ることができた。 具体的に研修で学んだ事を活かし●●のケアへ変えた結果良くなった。又はケアは変えたがうまくいかなかった。どうしたら良いのか？等の成果について話合える場が少なかった様に感じる。	職員の年間研修計画、個別計画をたて実施していく。管理者は職員の苦手部分の解消や事業所内の質の向上ができるよう研修計画をたてる。月1回の勉強会に伝達研修の機会を持つ。 同様にどの様な成果があったかについてもケース事例を挙げて検討する機会を持ちます。

Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	「スマケア機器」を使用し情報の共有を図りました。手順書もスマケアに入力行い変更あれば随時担当者が更新することになっていますが更にスピード感を持って更新や情報共有できるかが課題です。本人やご家族へプラン変更については日頃からの電話対応や対面での相談援助、家族や地域の方々との信頼関係作りが大事です。本人、家族の意向を汲み取り地域との関係性を大切にしています。	本人・家族とのコミュニケーションの機会を多く持ち望む生活支援を継続させる。職員全員が情報を共有し統一したケアが出来るように「スマケア機器」を有効活用していきます。 事業所理念「私達は地域の中でその人らしく過ごせるように支えます」の意味を各自が理解しケアを行っていきます。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	安心・安全な在宅生活が継続できるよう緊急時にも主治医・訪問看護と連携し情報共有に努めた。地域の方々や事業所や病院等とも連携し継続的に行ってきました。コロナ感染症の影響もありましたが久しぶりに R5、7 月には地域の方とも一緒に流しそうめんに出だし楽しむことが出来ました。	感染症の影響があっても継続した支援が提供できる体制づくりを進めていきます。地域の課題になっている事を知る環境整備の為にも「オレンジカフェ」「料理教室」「みんなのサロン・掲示板」を有効活用し地域の声を聞いていく場を強化します 季節ごとの行事、外出の機会を増やし施設へのボランティアも受け入れた計画・取り組みを行っていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	認知症があっても住みやすく安心して暮らせるまちづくりの推進の為に、地域の方々を対象とした研修会・講演会等の開催の支援を年 2 回行いました。ライフ吉井田は介護相談できる窓口であることを地域の方々へ理解してもらえる様に活動しています。	吉井田地区管内へのチラシ配布、回覧、各地区代表者、運営推進委員の皆様、民生委員さんとも協力頂きながら一緒に課題について考えて提案できるようにしていく。 看護小規模の機能について知ってもらい重度化しても自宅で看取り支援も含めた仕組みを理解してもらえる様に活動ができその人にあったサービスの提案が出来る窓口として機能していく。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		自宅生活や療養の場面で本人・家族の意向をほぼ反映させたプラン作りに努めた。情報を共有し統一された支援方法の継続に努めることができた。在宅での看取り支援にも積極的に関わりたいと思いますが希望者も少ないのも現状で施設の課題です。	本人が望む暮らしの実現のためにも地域の方々へアンケートを取るなど本人、ご家族の意向を理解するきっかけを作りたいと思います。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる 「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	1	8	2	0	理念が明確に示され自己評価も良好で適切に評価されていると思われる。 高齢化社会の今後に備えて「在宅での看取り支援」はより必要性が高くなると思われるので関係機関と連携し進めてほしいものとする。 在宅での看取り支援はまだ行えていないとあるが看取り支援が必要になった時の対応はできますか？ 左記理念では④が読み取りにくい為補記があると良いと思います。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業	5	6	0	0		✓ 「サービスの特徴および理念等

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	所の理念等について、職員 がその内容を理解し、実践 している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> サービスの特徴については、職員入職時の説明だけでなく、毎月の勉強会等で確認を行っている。事業所の理念については毎日の朝礼にて職員全員で唱和を行い、意識付けを行っている。 訪問、通い、泊り、看護と医療と介護が一体的に提供できるサービスの特徴を理解し日々変化する利用者様の状態に対応できるように更に多職種（介護職、ケアマネ、看護師、栄養士）との連携も大切にし月 1 回ケースカンファレンスを第 4 水曜日に行い実践している。				大変良いと考えます。 職員さんが事業所の理念等を概ねできている評価なので今後も続けて理解、実践していってほしいです。評価できます。 毎日、唱和されているのは素晴らしいことと思いました。 サービスの特徴について具体的に表記した方が良いと思います。	を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	4	3	4	0	話しづらい事をいかに聞き出すかです。「やってみせて言って聞かせてさせてみて誉めてやらねば人は動かじとあります。 人材育成で「あまりできていない」との評価が気になる。 育成計画が立てられなかったか？計画通りに進められ	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 新人職員には、プリセプター(先輩指導者)がついて、業務について分かり易く丁寧に指導を行っている。 上司との面談は年 2 回実施。 人事考課による半期ごとの個別目標設定、面談の機会を設け個々の能力に応じ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		た目標設定を掲げ専門職として質の向上に努めています。更に全ての職員について年間個別の育成計画がありますので見直しをしていく機会を作っています。				なかったのか？介護職の人材不足が問題になっているので育成して長く働けるような職場になれば良いと思います。 素晴らしい取り組みだと思いましたがあまりできていないが4人いたのは残念でした。 事業所としての職員の育成計画や定着のための方策を示して評価してください。 個人それぞれの能力向上のための活動については適切に行われていると評価いたします。	
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	3	5	2	1	相手方に分かり易く伝える難しさはあるものの人を見て法を説けます。 日常業務以外で研修を受ける時間の確保は十分にあるのでしょうか？評価は出来ます。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		名) やリーダー研修 (1 名) をはじめ、高齢者虐待 (2 名)、キャリアパス (1 名) 介護技術 (1 名)、感染症 (2 名) 喀痰吸引研修 (1 名) など受講者を計画的に選定して行っている。 更に外部研修出席者は毎月の事業所の勉強会にて伝達研修を行うことで確実に学ぶ事が出来ている。				専門技術向上のための研修を具体的に表記して下さい。	
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	4	6	2	0	職員間で利用者の情報が適切に共有され毎日の業務に反映されていると評価いたします。 情報共有は仕事をする上での土台です。これからも忘れずに。 各専門員の間で情報の共有する機会が確保されている様子なので評価できます。 丁寧に対応されていると感じました。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
③ 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要	0	5	4	0	運営推進会議の議事録が作	✓ 「得られた要望・助言等のサービ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 運営推進会議で得られたサービス内容や防災訓練などへの要望・助言等を職員へ申し送る事で、サービスの提供等に反映させている。議事録作成後は必ず職員へも目を通してもらい地域ではどのような事が課題になっているのか？施設に対しどのような要望があり要望に応えるためにはどうすれば良いのか？について考える機会を持ち今後もサービス提供に反映していきます。 会議議題も定例的なもの以外にも「事故報告書」等も提出していきたいと考えています。				成されているなら次の会議に報告してほしい。会議の議題も定例的なものの他に事業所の内容が判るようなものを提示してほしい。 自己評価は半々の評価。出された意見の本意を職員に伝える工夫がほしい。 評価がやはり半々なので何が反映できて何が反映できなかったのか具体的にわかると良いと思います。 あまりできていないの人が凡そ半数いるのでその内容を確認する必要があると思いました。	スへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	6	2	1	「付度が過ぎると思っている」と意見が出てこない。出しづらい風潮になる」風通しの良い環境づくりをやって下さい。 「出来ていない」という職員評価があるので安心して働	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		等しやすいよう風通しの良い事業所作りに努めている。 法人での職員満足度調査を実施、結果の開示を行っている。職員全体が年に5日以上有給休暇をとれる様に管理者が勤務体制の見直し改善を行っている。月に2回は希望休が取れることになっています。				けるよう改善点を見つけ長く働ける職場に努力してほしいです。 肉体的にも精神的にも大変な仕事かと思いますが大方、肯定的な評価で良かったです。適切に職員管理が行われていると評価できます。	
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	3	6	1	1	スマケアシステムの利用により利用者の情報がリアルタイムで確認でき（サーバー、クラウド）で共有できているので適切に対応できると評価する。利用者様毎の引継ぎと申し送りは必ず行ってください。 今後もこの良習を継続してほしいです。 スマケアシステムの共有できていないという評価もあるので問題点を洗い出し	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] スマケアシステム(スマートフォンを活用した記録システム)を使用し、利用時の記録を行っている。毎日の日誌に一日の記録を印刷したものを添付し情報共有を行っている。 体調不良者や、申し送りの必要がある利用者様の情報については、朝夕のミーティングにて情報共有を行っている。 時間に余裕がなく前日の記録に目を通せずに業務にあたっていることがあり状況が変わっている場合は苦慮する。状況は					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		日々変化しやすく対応も随時行う為スピードが速い。 しっかりスマケア記録を閲覧する必要があります。				スムーズに情報共有できるように改善してほしいと思います。 丁寧に対応されていると感じました。	
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	8	2	0	ハイリッヒの法則にもあるように事故の芽を早めに感知し育たぬうちに対処するのが肝心です。 予防対策、安全対策評価できます。感染対策、個人情報保護対策はしっかり対応してほしいと思います。 事故防止、感染症対策など適切な対応が図られており評価できる。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ヒヤリハット、事故報告書を毎月の勉強会にて報告し、改善策を実行している。危険予測の勉強会も実施し、危険予測に努めている。ヒヤリハット報告書（事故は起きなかったがその手前でヒヤッとした事が大事で皆で事故になる前に共有する） 事故報告書（転倒、転落、打撲、誤薬、訪問忘れ等、事業所により事故内容が異なる）＊まずは事業所内の事故防止委員会が把握し施設全体で報告書を二次検討する。 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染防止のためのマニュアルに基づく対応を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		個人情報保護に関する対策は、職員は雇用時に書面での取り交わしを行い、ボランティアには、活動開始前に書面での取り交わしを行っています。又利用者にはサービス開始前の契約の段階で書面での取り交わしを行うなどの対応をしています。 ホームページ等でも個人情報取り扱いについて示しています。					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	5	5	1	0	継続は力なり。いざと言う時に必ず役に立ちます。 水害の時は垂直避難の訓練をしているのでしょうか？停電の時は自家発電があるのか？トイレや飲料水は十分に備蓄されているか？毎月の訓練を行っているので評価は出来ます。夜間訓練報告書に地域の方の協力が必要とありましたが掲示板にその旨わかるようにした方が良いと思います。 「BCP業務継続計画」「バックアップ体制」「システムの災	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 月1回(毎月21日)の防災訓練では、火災、地震、水害等の訓練を行うことにより、災害・防災の対策を行っている。 年1回(9月)の総合防災訓練では、消防署員の方、市職員の方、地域の方々の協力を得ながら、防災対応の確認を行っている 水害の時は垂直避難訓練実施、停電時は自家発電を使用できます。飲料水は5年間保管できるものを備蓄、トイレ用は無し。食品の備蓄は1週間分あり(日清さん)ます。毎月日清さんとは給食委員会					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		を実施し災害時の確認、嗜好内容について の会議を行っています。 「BCP業務計画」は災害用、感染症用 マニュアルを作成 R6、4月から義務化されておりライフ吉 井田も作成済み、更新も行っています。 同法人内でバックアップ体制は拠点間 を超え行っています。				害復旧」等の具体的な対策を 記してください。 毎月定期的に各種災害を想定 し避難訓練を行っていること は評価できる。	
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を含 む、利用者等の 24 時間の暮 らし全体に着目したアセ スメントが行われている	1	6	3	1	難しい課題です。今後の取り 組みに期待します。 利用者様の生活歴などが把 握されていないのが気にな ります。生活歴を確認しなが らアセスメントすることは 良いことと思います。 テーマは 24 時間とされてい ますが利用者の 24 時間の状 況把握ができていますのか？ 不明です。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮 らし全体に着目したアセスメン ト」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護 小規模多機能型居宅介護におい ては、家族等を含めた 24 時間の 暮らし全体に着目したアセスマ ントが必要となります

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		宿泊の際に記録を取って確認しています。 ＊センター方式とは認知症高齢者の課題に気づくために日常生活を 24 時間の軸に沿ってアセスメントするツールシートです。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	2	7	2	1	横の連携、情報共有は必要付加欠なものです。 情報共有が行われている様なので今後もタイムラグがない様にスマケアを活用してほしいと思います。 毎日のミーティングやスマケアの記録で情報共有が出来る体制のはずですがあまりできていないと評価が気になります。問題となっている事や対策は？	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考え	3	6	1	1	双方の信頼関係の醸成が基	✓ 「家族等の考えを含めた計画の

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	を把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ケアプラン作成時には、利用者、家族双方の意見を反映させながら作成している。 利用者や家族との良い関係性を築き、関係性を保つことで利用者や家族が相談しやすい環境を作っている。 ケアプランには「個々のゴール目標」「当面の目標ニーズ」「目標を達成するための具体的な課題」を記載し半年に1度評価（モニタリング）を行い次の半年後の目標を設定します。				本、ざっくばらんに話し合えることが大切だと思います。 評価できます。利用者や家族が相談しやすい場を今後も続けて下さい。 ケアプラン作成時だけでなく利用者や家族の意見をどの様に反映させているか？更新についてです。	作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	1	7	3	0	これからも向上を目指してください。評価できます。 差し支えなければ不足部分を具体的に表記すると良いと思います。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		介護度の重い要介護 4 や 5 の方については多くお受けしておりますが特別な管理が必要な方（酸素施行、バルーンカテーテルの方、胃ろう増設、経管栄養食の方、褥瘡が大きい方等）は主に看護師が対応しなければなりませんし看護師不足や 24H コール体制はあるが夜勤体制でない為職員の精神面での負担、事業所内の力量が問われるなどが不足している部分と感じています。（現在特別な管理が必要な方は 4 名しかおりません）					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	2	5	2	1	実際の出来事が報告されているのは大事なことです。これを基にして改善に取り組んでください。隠さず報告できる環境は良いことです。評価できます。 利用者個人の状況変化予測とリスク管理の計画について評価を求めています。自己評価の内容と項目が一致していませんので具体的な計画をお願いします。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の 2 つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		<u>具体的な状況・取組内容</u> 利用者の状況変化が見られる際にはそれに伴うリスクも変化が生じるため多職種によりケアカンファレンス内で議題として挙げ予後予測など踏まえて変化とリスクに応じて再度対応策を検討している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	3	6	1	0	ゴミを蹴とばすか拾うかと同じようなものです。気づこうと思えば気が付きますよね。 ミーティングや毎月のアセスメントにより利用者の状況把握が行われているものと評価できる。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	2	6	3	0	家族から話を良く聞き取ることが適切な対応、助言につながると思われます。 自己評価の内容から利用者及びその家族と適切にコミュニケーションが取られているものと評価できる。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	7	3	0	関係機関における情報共有は不可欠です。これからも積極的に活用を心掛けて下さい。 それぞれの職種で連携できているようなので今後も継続してほしいです。評価できます。 利用者の主治医、事業所内の人達との情報の共有と入院先からの退院後の状況についての把握がなされていると評価できる。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	4	7	0	0	サービス提供が行われている様ですね。 これからも続けて下さい。 事業所内に看護師と介護員がおりそれぞれ役割に応じて適切に対応されていると評価できます。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	7	1	0	評価します。今後も継続をお願いします。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	3	6	2	0	評価項目で求めているものと自己評価の内容が一致していません。看護職から介護職へどのような情報提供や提案や必要に応じて利用者毎になされるのか示してほしい。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ティングで行われます。話し合われた内容は申し送りノートや個別ファイルへ記録し保存されます。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	3	5	3	0	分かり易い説明にはなるべく専門用語、ヨコ文字は避けるように。 サービスの趣旨が利用者さんに理解されていると思われるので評価できると思います。 R5、12.1 現在では一般的にはコロナ禍とは呼ばないと思います。利用者と接触が少ない見学などは基本的感染対策を行って解禁しても良いと思いました。 利用者には契約書や重要事項説明書の説明は必須ですが判りにくいので要約書と	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		いきます。				か概要書とかの説明も必要 と思われます。	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅 での療養生活の継続に向け て留意すべき点等につい て、分かりやすく説明し、利 用者等の理解を得ている	3	4	4	0	ライフサポートワークにつ いて知らないので具体的に 例示し分かり易くしてほし い。どの程度理解されそれが 療法とどう結びついている かの考案もほしいです。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ライフサポートワークを活用し、プラン 作成を行っている。利用者様、家族様と 共に話し合いを行いながら目標を設定 し、療養生活の継続に向けて留意すべき 点について分かり易く説明し、理解を得 ている。 ライフサポートワークとはケアマネー ジャーがケアプランを立てる上のツールの 種類です。このツールは小規模連絡会で 作り上げたもので本人に必要な目標を導 くためのツールのひとつとしてライフ吉 井田では使用しています。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や 医療機器の取り扱い方法、 家族等が行うケアの提供方 法等について、分かりやす く説明し、利用者等の理解	4	3	4	0	辛抱強く分かり易い説明を するように努めて下さい。 利用者等の理解を得られて いるかどうかの評価の記載 が必要かと思いました。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者や家族にもわかりやすい説明を心 がけて行っている。利用者や家族の意向 を取り入れ、それに添えるように心掛け					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足		
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い				
	を得ている	ている。ケアの提供方法等については、 わかりやすく説明し、理解が得られるよ うに努めている。 医療機器については在宅酸素、吸引機、 パルスオキシメーター（酸素濃度測定） その他インスリン注射、バルーンカテー テル管理、胃ろう管理、ストマー管理、 点滴、傷の処置、褥瘡処置、内服薬管理 は毎日行っています。				医療処置、医療機器とはどん なもの？教えて下さい。			
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有									
25	○ 利用者本人（意思の決定・表 示ができない場合は家族 等）の希望や意向を把握し、 サービスの提供に反映して いる	4	5	2	0	難しい問題ではありますが 腹を割った話し合いが土台 です。 利用者やその家族の希望な ど聞き取りそれぞれの職種 で情報が共有されていると 思われているので評価でき ると思います。 本人の意志はどうやって確 認していますか？確認して いる内容を自己評価に記入 してほしい。	✓ 「サービス提供への適切な反映」 について、充足度を評価します		
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> アセスメント、モニタリング時には、利 用者や家族の意向を確認し、ケアプラン を作成している。介護職や看護職が利用 者や家族からサービス等に関する意向を 聴いた時には、介護支援専門員への情報 を伝達し、計画に反映させ、利用者や家 族の望むサービス提供に努めている。 本人の意志は毎月自宅へ訪問した際に家 族も含めて面談を行い施設へ通いに来た 際に意思確認しています（モニタリング と言う）新しい悩み等が発生した際は課 題に対し考えていきます。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		入居者に対してはその都度相談していますがご家族様へ報告は行っています。 アセスメントは利用者を支援するために必要な内容やサービスを受けるに至った背景等の情報をまとめた書類で主にケアマネージャーが行いアセスメントシートへ記載します。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	3	3	3	1	「できていない」の自己評価についての対策が必要と思います。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 毎月の訪問、モニタリングの際などに利用者や家族と話し合い、在宅生活の継続の可否についても慎重に検討している。 職員が一人当たり 3 人位づつ利用者を担当していてモニタリング記録へ毎月記載していますが記載漏れがある事から「あまりできていない・できていない」と評価したようです。職員が記載した記録をみてケアマネージャーが利用者や家族へ話す情報も多く伝わりベストな状態と思われます。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明	0	5	6	0	高齢者の年齢にもよるが救急車の世話になって存命するか？在宅で最期を迎えるか？の選択は常に考えなけ	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の 2 つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録とし
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看取りの事例は今までに無いが、利用者様の状態の経過について説明し、利用者					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	した内容や利用者等の意向 等を記録として残している	様・家族の意向等を記録として残している。				ればならない課題ですね。 利用者へ説明し記録してい る様なので評価できます。 看取りの事例がないので評 価もあまりできていない評 価になったと理解します。 事業所の実態として終末期 のケアがないとお聞きしま したので評価はできません。	て残している」場合は「よくでき ている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報 共有等により、病院・施設等 からの、利用者の円滑な在 宅生活への移行を支援して いる	4	5	2	1	利用者が少しでも安心でき る様な助言を心掛けて下さ い。 連携・情報の共有等は出来て いる様なので評価できる。 具体的な連携先病院を内容 に入れると良いと思います	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への 移行」について、充足度を評価し ます ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファ レンスへの参加」、「利用者等に係 る病院・施設等との継続した情報 共有」などの取組が考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		っており連絡取りあうことは多くなっています。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	1	5	5	1	自己評価が割れていて難しい問題です。事前に当事者のことを家族との間で話し合い救急搬送にするか？在宅にするかの結論を出しておくべきと考えます。 この項目は「主治医等と相談、反省」について記載すべきだと思います。全くできていないがあるが内容を確認する必要があると思いました。 「あまりできていない」等半数の自己評価に対しての対策や対応が必要と思われます。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携に	3	7	1	0	対応お疲れ様です。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	より、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 緊急時看護師が家族に連絡し、緊急搬送が出来る様に連絡体制がなされている。看護師も24時間体制で対応しています。緊急時は救急車を呼び救急隊の指示を仰ぎ病院へ搬送になります。その後にご家族へ状態の説明、搬送先についてお伝えし病院へ行って頂く対応しております。その旨は初回契約時にもお伝えし了承しております。主治医が福島中央病院の場合は初めに連絡をとり施設でお連れする場合や救急車をお願いする場合があります。				休日、夜間等の対応については大変な役割です。今後とも十分な体制作りをお願いします。適切に対応されていると評価できます。24時間体制の先は？医療機関との連携は？	築」について、充足度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	4	3	2	2	自己評価が分散して大変困りますね。提案や助言を現場にどう反映させるかです。どの様なサポートが必要なのか思いつきません。運営推進会議において所要の構成員が参加し定例会に会議が行われている。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		際の職員が各委員との会議などに参加する機会が少ないと思います。会議に出席した職員が伝達を行ったり「オレンジカフェ」には民生委員さんも出席して下さっているので積極的にお話を聞く場への参加を促し情報を頂いたり提案が出来るようになると良いと思います。包括的ケアについてもっと知る必要があります。					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見るような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	4	2	1	これからも地域の声を現場に生かす取り組みを続けて下さい。 閲覧できるようになっていても手にとって見るようにして頂ける様にして下さい。 会議の記録を全職が閲覧しているとあるがともすれば資料だけの記録になり易い。 議事録の確認を希望します。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域にお	5	5	1	0		✓ 「積極的な啓発活動」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
	いて果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 新型コロナウイルス感染、蔓延防止のために令和3年1月よりオレンジカフェを中止したが、令和3年7月より利用者様中心にて再開した。令和4年10月からは、地域の方々向けのオレンジカフェを開始している。 3階の研修室の開放も上司と相談していきます。 地域へ出向き相談できる会等も居宅と協力しながら積極的に行っていきたいと思います。地域の方々からもお誘い頂けていますのでとても助かります。				感染対策を考慮しながら地域との交流を図る観点からも3階研修室などの開放を進めて下さい。 オレンジカフェに参加して地域の方や利用者の方と一緒に工作、運動等楽しませてもらっています。評価します 「オレンジカフェ」だけが記載されていますが地域のための講演会等を開催するなど積極的に活動しており評価できる。	評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます	
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮								
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供								
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	3	6	2	0	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 事業所と同じ建物にサービス付き高齢者住宅があり、事業所の登録者以外の入居者にも訪問看護のサービスを提供している。又、地域に出での訪問看護サービスも実施している。今後も積極的に地域の	これから積極的に推進を期待します。 小規模について運営推進会議で説明を受け少し理解が出来ました。 自己評価の通り活動しており評価できる。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		方々への訪問看護を利用して頂けるよう 発信していきたい。					看護」を実施していないいない場 合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており 積極的に受け入れている	1	2	8	0	私も実母（99 歳）の在宅介護 の折「痰吸引」を経験しまし た。これからも切実な問題な ので対応を宜しくお願いし たいです。講習参加者を増や し経験年数を重ねて対応体 制の構築を望みたい。 痰吸引の研修は事業所とし ての評価であれば「受けさせ たい」 ですか？ 痰吸引ができる職員さんが 講習・技術の向上に期待しま す。しかしかなり習得には難 しと伺いわかりました。 事業所の利用者の実態を反 映した自己評価でありこれ は評価できる。資格取得者が 増えるように努力してほし	✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						い。	
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	0	1	2	9	止むを得ない状況を考えます。 受け入れ体制を整う為にこれからの計画とかは考えているのでしょうか？ 将来に備えて体制整備を検討下さい。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 現在、人工呼吸器を利用されている利用者はおらず、受け入れ体制も整っていない現状である。 受け入れ体制が整っていないので受け入れられない。現在は痰吸引の研修に関しても介護員さんに対して人工呼吸器の方に対しては行っていない。(研修対象者は職員です) 人工呼吸器の患者の受け入れは夜間帯看護師が常駐していない事もあり難しいと思っております。ご家族も病院と併設されている施設を希望される方が多いのも現状です。将来に備え体制整備については検討していきたいと思っております。					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	0	2	3	7	既に実施している施設の実施見学はやる必要があると思います。 看取り支援の勉強会や施設の見学など具体的な計画はされていますか？超高齢化社会に伴って看取り介護が	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看取り支援が出来るように、訪問看護とも連携を取る体制は出来ている。 主治医との連携等が課題になっている。 看取りをするという前提で主治医を選ばなければならないし勉強会の実施や他の					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		実施している施設の見学など準備をしていく必要があると思います。 同じ看護小規模で看取り支援を行っている施設もあるので見学なども実施する案は良いと考えます。行っていきます。 上記に記載したように看取り支援を行っている主治医がまだまだ地域に少ないのも現状としてあります。職員は1年に1回は看取りについて勉強会を行っています。やはり自分の事業所で行っていないとすぐに忘れてしまう傾向もあると思います。将来に備えしっかり看護師から教育を受けたいと思います。				増えていくと思いますので 早めの対策を考えてほしい と思います。 現在の利用者の状況や急変時の救急車利用等を考えると現実的に当事業所に必要とは思えませんが将来に備えて検討して下さい。	
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	0	7	2	0	評価できます。 外部から話を聞く研修は「空気の入れ替え」にも役に立ちます。 当事業所の「地域包括ケアシステムの構築方針又は計画」を策定するよう検討をお願い	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画がない場合は、「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・会議や勉強会等で地域包括ケアシステムについての話を聞く機会がある。又外部研修にも参加し、地域包括ケアシステムについて学ぶ機会がある。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						いします。	
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	4	4	3	0	評価できます。地域の方の利用者が増えるよう見学等計画してほしいです。 適切な情報発信に努めて下さい。 同種他事業所の存在もあり活動の効率もありある程度地域を限定してサービス提供は止むを得ないのでもっと地域（吉井田）での利用が増えるよう広報に努めて下さい。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に	2	5	5	0	民生委員として地域のニーズは何なのか？と考えてみたら思いつかないので高齢	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	応じて課題提起や改善策の 提案等が行われている	参加し、必要に応じて、課題提起や改善策の提案等が行える体制が整っている。地域にいる方々、個人の課題を知りたいと思っています。 施設見学者を募っていき地域の方が何に 対し困難と感じているのか？知ってい きたいと思っています。R5、12/6～一般開放 しているみんなのサロンを有効活用でき ると良いと思います。 サロンを使用し てくれている方は同じ顔ぶれが多いです がもっともっと近隣の方々にも寄って もらえる様にチラシ配布、掲示板の利 用を活発に行っていきたいと思いま す。民生委員さんの協力もお願いします。				化社会・介護など情報にアンテナを張りみつけていき たいと思います。 地域の方たちにもっと身近な施設なんだと感じて もらえるように「オレンジカフェ」に限らず将来は利 用者が使用している施設の見学なども企画してみ たら如何かと思えます。 限られた手段しかなく地域の実情を把握するのは 困難があるとは思っています。コロナ感染が落ち ついてきていますので地域への出前相談会など 企画され地域の実情を把握するように努めて下 さい。	✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	1	8	2	0	およそ出来ているの評価多数。これからも適時適切な助言をお願いします。 適切に対応されていると評価できます。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		遠方のご家族がいらっしゃるので、電話や手紙、スマケアシステムで利用者様の状態についての情報を共有している。					者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている 3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている 4. 利用者の 1/3 には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> R 元年台風 19 号により、自宅全壊にてアパートに引っ越した方が生活意欲がなくなり、うつ状態が重くなっていたが、ライフ吉井田看護小規模を訪問から利用され、状態が改善したケースがあった。更	当事者に寄り添い事態の改善を図れたことは大変良かったですね。これからは予測できないことなどあると思いますが適応力を高め対処したいと思います。計画目標に届かなかった点を今後達成できるように努力してほしいと思います。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		に定期的な医学管理を受けることで自宅生活が継続できた。心身の健康を保ち病気に対する不安の軽減ができた等目標が達成されている。	概ね達成できていると評価できます。	
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている 3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている 4. 利用者の 1/3 には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> いつでも訪問看護と連絡がとれることができるようになっており、医療面での不安がある方でも安心して在宅生活の継続が可能な限り送る事が出来ている。	在宅介護の苦労は身に染みて知っています。特に夜間は神経を使います。介護者への健康面、精神面での助言も大事ですね。評価できます。在宅療養が安心して出来る様今後お願いします。概ね利用者や家族の安心感が得られているものと評価できる。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている 3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている ④ 利用者の 1/3 には満たない 5. 看取りの希望者はいない	高齢者の増加に伴い将来的には在宅看取りがどう変化していくか利用者との意思疎通を図りながら理解度を向上させていか	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> いつでも事業所や訪問看護に連絡が取れる体制が整っている。看取りに至ったケースは無いが、出来る限り在宅で療養生活が送れるよう、利用者様・ご家族様の意向も確認しながら対応している。	ざるを得ないではないか？ 在宅での看取りは無いとの事ですが希望者があった時安心して在宅療養出来るようサービス提供して下さい。 利用者で看取りが必要な方がいないとの事や体制はできているとのことなので評価できる。	泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」